

# 地域研修カリキュラム

※講師等との調整により、カリキュラムに若干の変更の可能性があります。

オンデマンド講義  
視聴時間約4時間  
※受講必須のみの場合

概 要		単 元 名 / 講 師			● : 受講必須 ◇ : 受講任意	分
災害対応業務全般						
防災業務の全体像	1	防災行政概要	内閣府	◇	20分	
法体系	2	災害法体系と災害対策基本法の概要	内閣府	◇	15分	
防災計画	3	防災計画の概要	内閣府	◇	15分	
地域特性	4	地域の災害特性	京都地方気象台	●	60分	
災害救助法	5	災害救助法の概要	内閣府	◇	15分	
保健・医療・福祉	6	災害時の保健・医療・福祉活動と調整の概要	厚労省	◇	20分	
南海トラフ地震						
概要	7	南海トラフ地震の概要	内閣府	◇	15分	
推進基本計画	8	南海トラフ地震防災対策推進基本計画の概要	内閣府	◇	10分	
具体計画	9	南海トラフ地震の具体計画の概要	内閣府	◇	5分	
応援・受援の基礎知識						
概要	10	受援体制と受援計画の概要	内閣府	●	15分	
受援体制と計画/派遣制度/取組み事例	11	地方公共団体間の相互応援と受援体制	内閣府 総務省 大野城市	●	130分	
受援対象業務の概要						
概要	12	避難所の開設・運営の内容	内閣府	●	15分	
//	13	災害廃棄物処理の概要	環境省	●	10分	
//	14	被害認定調査・罹災証明書の概要	内閣府	●	10分	
物資の調達・輸配送						
国視点	15	国としての物資の備蓄および災害時における物資の調達・輸送	内閣府	◇	15分	
民間視点	16	救援物資の調達	コリ災害対策センター	◇	35分	
	17	救援物資の輸配送	佐川急便	◇	30分	
新物資システムの操作演習	18	救援物資ロジスティクス演習	内閣府	◇	30分	

リアルタイム研修

時間	単元	講師	分	単元の概要
10:30 ~10:35	- (オリエンテーション)	(事務局)	5分	
10:35 ~10:50	1 はじめに	京都府	15分	直近のトピックスに関する話題提供を兼ねたあいさつ
10:50 ~12:00	2 【講演】 事例から学ぶ受援の実態と課題	受援経験のある 自治体職員	70分	大規模災害時に、応援受け入れの窓口対応を経験した自治体職員の方から、応援受け入れや調整にあたっての活動や業務、受け入れ時の苦労や教訓を学ぶ。
12:00 ~13:00	- (昼休み)		60分	
13:00 ~14:15	3 【エスノグラフィー演習】 災害対応過程と態度を学ぶ	サイエンスクラフト 瀧波 崇	75分	災害時の応援を経験した自治体職員の体験談を教材として読み込み、教材から読み取った知見・教訓をグループワークで整理することで、災害発生前後の活動を確証し、行政の対応の流れや災害対応上の課題、活動上のポイントを学ぶ。
14:15 ~14:25	- (休憩)		10分	
14:25 ~15:50	4 【演習】 受援業務における初動対応演習	サイエンスクラフト 元谷 豊	85分	災害発生初動期の応援要請と応援受け入れのそれぞれの状況で検討する演習を通じて、応援要請や応援受け入れ時の市町村の役割と、市町村による応援要請における県の役割を学ぶ。
15:50 ~15:55	- (休憩)		5分	
15:55 ~16:25	5 【演習】全体討論（ふりかえり）	事務局	30分	研修を通じて学び得たものを整理し、日頃からの「備え」につなげることを演習を通して学ぶ。
16:25 ~16:30	- (閉講)	(事務局)	5分	

※No. 3～5の各演習の最後に、兵庫県立大学 木村 玲欧先生にご講評をいただきます。

コーディネーター 兵庫県立大学 環境人間学部・大学院  
環境人間学研究科 教授  
【プロフィール】 木村 玲欧 氏

名古屋大学等を経て現職。専門は防災心理学、防災教育学。災害時の人間心理・行動、復旧・復興過程、歴史災害教訓、効果的な被災者支援、防災教育・地域防災力向上手法など「安全・安心な社会環境を実現するための心理・行動、社会システム研究」を行っている。